伝統行事に積極参加を

谷崎（たにざき） 萌香（もえか）さん（池田中２年）

鯖江市東部の伝統行事「おこない」で、男性のみが参加していた餅まきに初めて女性が加わった。その理由は、少子高齢化による人口減少が続くと、行事の存続が危ぶまれるからだと言う。

私の暮らす池田町にも「池田大祭」という伝統的な祭りがある。この祭りは、毎年6月初旬に開催され、私も露店などを楽しみにしている。しかし、その露店の数も年々減少しているように感じる。また、小学5年と6年の時、私は「池田大祭」で浦安の舞を奉納した。この浦安の舞も、かつては、池田町中地区の女子のみが担い手となっていたと聞くが、今は他の地区からも参加するようになっており、これも祭りの存続のための変化だろう。池田町でも少子高齢化と人口減少が進んでおり、池田大祭がどのようになっていくかが心配だ。

地域の伝統を次の世代に引き継いでいくために、自分が積極的に行事に参加することや、時代に合わせた存続の形を私たちの世代も考えることが大切だと思う。

伝統餅まきに初の女性

鯖江・磯部

「おこない」皆で守る

福井新聞

© 福井新聞社　無断複製・転載を禁じます